

Maison Francis Kurkdjian Paris



「ローアラローズ — それは、女性らしさを讃えた新たな香り」

フランシス・クルジャン

昔から花の女王と称されてきたバラの花は、人々の創造力を掻き立ててきました。詩人、画家、音楽家はもちろん、調香師もバラの花のオーラやその不思議な魅力に魅了され続けてきました。

「アラローズ オードパルファム」を調香するにあたり、調香師フランシス・クルジャンはクラシックと思われがちなテーマにモダンなツイストを加えて、コンテンポラリーなバラの香りのまとい方を提案。当初バラの香りが苦手であった人々をも瞬く間に魅了してしまいました。こうして発売後数ヶ月のうちに、「アラローズ」はメゾン フランシス クルジャンを代表するフレグランスのひとつとなりました。

Maison Francis Kurkdjian Paris

P'eau À la rose

A poetic name for a delicate fragrance

王妃 マリー・アントワネットの肖像画家を務めたエリザベート・ヴィジェールブランによって描かれた、センチフォリアローズを手に持つマリー・アントワネットの肖像画にまつわる話にインスパイアされて、2014年、フランシス・クルジアンは「アラローズ」と名付けたオードパルファムを誕生させました。

2019年、フランシス・クルジアンは、オードトワレという形で新たな感情を呼び起こします。新フレグランス「ローアラローズ」は、明け方に摘み取ったバラの花びらのように、肌を優しく愛撫する、繊細でさわやかな花の香りです。そのしずくには、開花したばかりのバラ400本の香りが詰まっています。

フルーティフローラルな香りのローアラローズ オードトワレの調香にフランシス・クルジアンは、2種類のバラを使用しました。そのひとつである、ブルガリア産ダマセナローズオイルが、かすかにスパイシーでフルーティな香り(洋ナシやライチ)によって、華やかなトップノートに仕上げています。ラストノートには、グラス産センチフォリアローズアブソリュートを使い、ほんのりとハチミツの香りを感じる花びらのような、芳醇なバラの花の香りを生みだしています。

これら2種類のバラ400本分のパワフルな香りを、さわやかで軽やかなグリーン調の香りをもたらずピオニアコードが引き立て、トップノートのライチがフルーティでありながら、刺激的な側面をプラスしています。さらに、ホワイトムスクがそっと包み込むように官能的な香りをもたらします。

フランシス・クルジアンは、オードトワレであってもバラを惜しみなく配合することで、新作「ローアラローズ」を贅沢にローズが香るフレグランスへと仕上げました。

フレッシュで軽やかな香り

香調：フルーティ フローラル

香料：ライチアコード、ブルガリア産ダマセナローズオイル、ピオニアコード、
グラス産センチフォリアローズアブソリュート、ムスク

メゾン フランシス クルジアン

ローアラローズ オードトワレ 70mL 24,600円 (消費税別)

2019年 7月10日 (水) 全国発売 (アジア先行発売)



〈掲載表記・お客様お問い合わせ先〉

ブルーベル・ジャパン株式会社 香水・化粧品事業本部

〒107-0062 東京都港区南青山2-2-3 南青山M-SQUARE Tel:0120-005-130(受付時間 10:00~16:00)

ブルーベル・ジャパン公式フレグランスサイト「ラトリエ デ パルファム」www.latelierdesparfums.jp

〈プレスお問い合わせ先〉

ブルーベル・ジャパン株式会社 香水・化粧品事業本部 AD/PR Tel:03-5413-1086 Fax:03-5413-1669

Mail:fnopr.jp@bluebellgroup.com

📍ラトリエ デ パルファム

📷[latelierdesparfums_jp](https://www.instagram.com/latelierdesparfums_jp)

🐦@ラトリエデパルファム